

経費増に対するさらなる価格転嫁に苦慮

人手不足による機会損失が経営に圧迫

～景況 DI 値は、前年同月比同水準のマイナス7.9～

*DIとは景気の動きをとらえるための指標。「増加、上昇、好転」の割合から「減少、低下、悪化」の割合を差し引いた値。

1. 11月鳥取県内の中小企業景況

売上（受注）高 製造業では、DI 値前月比21.0ポイント低下のマイナス10.5、前年同月比10.5ポイント上昇のマイナス26.3。非製造業では、前月比10.6ポイント上昇のプラス31.6、前年同月比21.1ポイント低下のプラス5.2。

販売（受注）価格 製造業では、DI 値前月比10.5ポイント上昇のマイナス5.3、前年同月比0.1ポイント上昇のプラス5.3。非製造業では、DI 値前月比42.1ポイント上昇のプラス42.1、前年同月比10.5ポイント上昇のプラス52.6。

収益状況 製造業では、DI 値前月比5.3ポイント低下のマイナス15.8、前年同月比26.3ポイント上昇のマイナス26.3。非製造業では、前月比同水準のプラス26.3、前年同月比5.3ポイント低下のプラスマイナス0。

資金繰り 製造業では、DI 値前月比5.3ポイント上昇のマイナス5.2、前年同月比5.2ポイント上昇のマイナス15.8。非製造業では、前月比10.5ポイント上昇のプラス10.5、前年同月比10.5ポイント低下のマイナス10.5。

雇用人員 製造業では、DI 値前月比同水準のマイナス10.5、前年同月比5.3ポイント上昇のマイナス10.5。非製造業では、前月比5.3ポイント上昇のプラス5.3、前年同月比10.6ポイント低下のマイナス15.8。

景況 製造業では、DI 値前月比10.5ポイント上昇のマイナス15.8、前年同月比5.3ポイント上昇のマイナス21.0。非製造業では、前月比5.3ポイント上昇のプラス15.8、前年同月比5.2ポイント低下のプラス5.3。

県内中小企業の景況は、全業種景況 DI 値は、前月比7.9ポイント上昇のプラスマイナス0、前年同月比同水準のマイナス7.9となった。製造業では、多くの業種で原材料価格、エネルギーコストの高止まりの影響が続いており、さらなる製品値上げも難しく価格転嫁に苦慮している。また、価格転嫁が追いつかないことで収益状況を悪化させるなど、業況は依然として厳しい。非製造業では、カニシーズンを迎え、飲食、宿泊、観光関連を中心に業況は好調を維持し、売上高は前月比で上昇したものの、物価高騰の影響による販売価格の上昇が消費マインドの低下につながり前年同月比では減少で推移した。県内景況は、電気代や副資材等諸経費の値上げが続くなか、経費増に対するさらなる価格転嫁の実施に苦慮しており、結果として収益を圧迫するなど業況は依然として厳しい。また、深刻化する人手不足により、営業機会の損失が発生するなど経営に大きく影響しており、先行きは不透明な状況が続いている。

2. 企業倒産（㈱帝国データバンク調べ）

11月の全国倒産は、件数773件で、（前年同月570件、35.6%増）と、19カ月連続で前年同月を上回り、2カ月連続で前年同月より3割以上も多くなった。2023年1－11月の累計件数は7,691件。11月時点で7,500件を超えたのは、2019年以来4年ぶり。

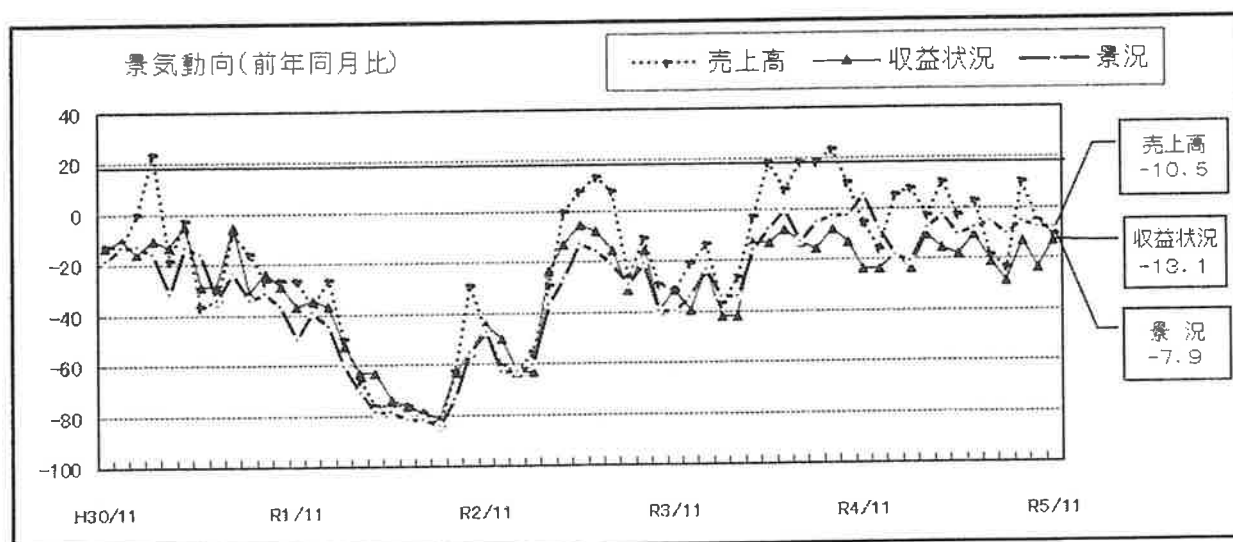
一方、11月の鳥取県内企業倒産は、倒産件数1件（前月1件）、負債総額は4,200万円（前月5,800万円）であった。

3. 労働情勢（鳥取労働局職業安定課調べ「労働市場月報10月分」）

鳥取県の10月の有効求人倍率（パートを含む速報値）は1.33倍（季節調整値）（全国有効求人倍率は1.30倍）で、前月より0.04ポイント低下。各所別有効求人倍率（原数値）では、鳥取所1.11倍、米子所1.60倍、倉吉所1.40倍。新規求人倍率（パートを含む速報値）は2.12倍（季節調整値）で、前月より0.13ポイント低下した。

新規求人数は、前年同月比14.3%減少し、有効求人数も11.9%減少となった。産業別に前年同月で比較すると、サービス業（8.8%）で増加した。

新規求職者数は、前年同月比14.5%増加、有効求職者数は前年同月比5.0%増加となった。パートタイムの有効求人倍率（原数値）は1.22倍で、前年同月を0.24ポイント下回った。新規求人数は前年同月に比べ20.6%減少した。



11月の中小企業景況

前月比	製 造 業			非 製 造 業			全 業 種		
	増加	減少	D I	増加	減少	D I	増加	減少	D I
(1) 売 上 高	15.8%	26.3%	-10.5 -21.0	42.1%	10.5%	31.6 10.6	28.9%	18.4%	10.5 -5.3
(2) 在庫数量	5.3%	10.5%	-5.2 10.6	8.3%	8.3%	0.0 -16.7	6.5%	9.7%	-3.2 12.9
(3) 販売価格	10.5%	15.8%	-5.3 10.5	42.1%	0.0%	42.1 42.1	26.3%	7.9%	18.4 26.3
(4) 取引条件	5.3%	10.5%	-5.2 -5.2	0.0%	0.0%	0.0 5.3	2.6%	5.3%	-2.7 0.0
(5) 収益状況	5.3%	21.1%	-15.8 -5.3	31.6%	5.3%	26.3 0.0	18.4%	13.2%	5.2 -2.7
(6) 資金繰り	5.3%	10.5%	-5.2 5.3	10.5%	0.0%	10.5 10.5	7.9%	5.3%	2.6 7.9
(7) 設備操業度	0.0%	10.5%	-10.5 -5.2						
(8) 雇用人員	0.0%	10.5%	-10.5 0.0	5.3%	0.0%	5.3 5.3	2.6%	5.3%	-2.7 2.6
(9) 景 況	0.0%	15.8%	-15.8 10.5	15.8%	0.0%	15.8 5.3	7.9%	7.9%	0.0 7.9

前年同月比	製 造 業			非 製 造 業			全 業 種		
	増加	減少	D I	増加	減少	D I	増加	減少	D I
(1) 売 上 高	15.8%	42.1%	-26.3 10.5	36.8%	31.6%	5.2 -21.1	26.3%	36.8%	-10.5 -5.2
(2) 在庫数量	0.0%	26.3%	-26.3 0.0	8.3%	0.0%	8.3 16.6	3.2%	16.1%	-12.9 6.5
(3) 販売価格	21.1%	15.8%	5.3 0.1	52.6%	0.0%	52.6 10.5	36.8%	7.9%	28.9 5.2
(4) 取引条件	0.0%	21.1%	-21.1 -5.3	0.0%	10.5%	-10.5 0.0	0.0%	15.8%	-15.8 -2.6
(5) 収益状況	10.5%	36.8%	-26.3 26.3	15.8%	15.8%	0.0 -5.3	13.2%	26.3%	-13.1 10.5
(6) 資金繰り	10.5%	26.3%	-15.8 5.2	0.0%	10.5%	-10.5 -10.5	5.3%	18.4%	-13.1 -2.6
(7) 設備操業度	0.0%	31.6%	-31.6 5.2						
(8) 雇用人員	5.3%	15.8%	-10.5 5.3	5.3%	21.1%	-15.8 -10.6	5.3%	18.4%	-13.1 -2.6
(9) 景 況	5.3%	26.3%	-21.0 5.3	21.1%	15.8%	5.3 -5.2	13.2%	21.1%	-7.9 0.0

* D I とは、ディフュージョン・インデックスの略。D I 欄上段は、「増加、上昇、好転」の割合から「減少、低下、悪化」の割合を差し引いた値。

* D I 欄下段は、今月調査 D I（上段）から前月調査 D I を差し引いた値。

4. 特記事項(景況の変化とその原因・現状等企業経営・業界での問題点)

製 造 業

【食料品】

一般食料品⇒ 原材料(小麦粉、砂糖、油脂等)や、包装資材等副資材価格の高止まりにより、厳しい業況が続いている。さらなる製品の値上げとなると取引先や消費者からの理解を得ることは困難となる。総じて、前年同月比で売上、収益状況とも厳しい。

醬 油⇒ 製品の値上げの影響により需要が低調に推移し、販売数量が減少するなど収益の改善に至らず、厳しい業況となっている。味噌、醤油ともに輸出に力を入れるも中国向けの製品需要が極端に低下しているため、売上高は前年同月比で減少した。

【繊維工業】

繊維製品⇒ 人件費上昇や物価高騰の影響への対応として加工単価について価格転嫁を図りたいが、発注元の理解は得られにくい状況が続いている。売上高は前月比で横ばい、前年同月比で増加した。

ニット製品⇒ 来年の春夏物の受注の動きが非常に鈍く、厳しい状況。今年の秋物の受注も少なく、来年へ在庫を持ち越すため来秋の受注減少が予想される。

【家具装備品】

⇒ 円安の影響による原材料等仕入価格の高騰及び燃料価格の高止まりによる輸送コストの増加により収益を圧迫している。売上高は前月比で横ばい、前年同月比で増加となった。

【木材・木製品】

製 材 品⇒ 製材用素材の入荷量は前月比で横ばい、製材品の生産量は前月比でやや増加した。合板の生産量は前月比で増加となった。製材品の動きは依然として低調であるが、製材所は冬場の丸太需要に向けて動きが見られる。プレカット加工の稼働率は、前月比30%減少、前年同月比60%減少となった。

【紙・加工品】

和 紙 ⇒ 円安の影響により原材料高等諸経費の高止まりが続いている。売上高は前月比、前年同月比ともに横ばいで推移、景況は厳しい状況が続いている。

【印 刷】

⇒ 11月から12月かけ、受注は停滞傾向にある。年末にかけても受注増加の兆しは見られない。売上高は前月比で減少、前年同月比で減少となった。

【窯業・土石製品】

生 コ ン⇒ 11月の生コン出荷量は、前月比で約33%減少、前年同月比で約4%減少となった。依然として東部地区を中心に引き合いが弱く、前年割れが続いている。災害復旧工事に動きが始まったものの、小規模で数が多く、小型車指定のため対応に苦慮している。また、民間工事の案件に動きが見られるも、前年並

みには至っていない。セメント価格、骨材価格、輸送燃料の値上げから生コン価格の値上げがなされたが、一部民間工事計画の見直しや延期が見られる。若手人材の確保が課題となっている。

【金属製品】

金属加工⇒ 建築関係は、県内でも民間物件の動きが出ているが、仕事量は少なく、価格面での折り合いがつかず厳しい。大都市部を中心に大型物件の需要はあるものの、全国的には建築需要の停滞により、地方の中小企業の受注環境は厳しくなっている。機械加工は、受注を確保できているものの、全体的に弱含みとなっている。工作機械・産業機械関係は受注が減少傾向となっており、自動車関係も年内から来春まで受注は厳しい状況となっている。電気代、人件費や諸経費の物価高騰に加え、低価格競争も加わり価格転嫁も困難で厳しい状況が続いている。

鉄骨加工⇒ 県外発注の工事に徐々に動きが見られ、東部・中部では公共工事の受注を確保できている。鋼材価格の高止まりが続いており、電気代等の価格転嫁も十分にはできておらず、厳しい業況が続くことが予想される。

金属熱処理⇒ 11月の受注状況は前月比で4%程度減少、前年同月比で横ばいとなった。前月から大きな変化は見受けられず、依然としてコロナ禍以前の水準には達していない。原材料、エネルギーに関し価格転嫁を試みるも、大企業を顧客に持つ事業者からは理解が得られず苦慮している。その間赤字生産で対応しなければならぬなど下請け業者への負担が増加し、厳しい状況が続いている。

【電気機械器具】

⇒ 原材料調達に係るサプライチェーンは改善され、スムーズに納入されてきている。一方、原材料価格高騰が続いており、利益確保に苦慮している。受注が大幅に減少しており、先行きは依然不透明なままである。

非製造業

【卸売業】

東部地区⇒ 青果関係では、前月比では取扱数量、売上高はともに減少した。前年同月比では、取扱数量は横ばいで推移したものの、単価の上昇により売上高は大きく増加した。鮮魚関係では、松葉ガニ漁の解禁により前月比で取扱数量、売上高ともに大きく増加、前年同月比では取扱数量、売上高は減少した。単価については、前年比で増加傾向が続いている。インバウンド需要の増加により、業況は改善の兆しがみられる。

中部地区⇒ 物価高に伴い仕入価格は上昇しているものの、中長期的な商談の価格転嫁は引き続き厳しい状況にある。値上げの対応に苦慮しており、採算が合わない案件が散見される。売上高は前月比、前年同月比ともに減少した。

西部地区⇒ 新型コロナの5類移行を契機に対面営業や展示会等が再開されつつある。一方、食料品・消耗品の値上げに加え、燃料費の上昇による原価への影響が懸念される。また、仕入配送に関わるコスト増の影響、配送の減便とそれに伴うトラックの大型化等が散見される。インボイス制度の開始により、事務量の増加が問題視されている。

水産物⇒ 巻き網は荒天日が多く、単発的にアジ、サバの混獲漁（対象種と別の種を意図せず漁獲）とハマチの水揚げがあったものの、特段目立った水揚げは見られず前年を大きく下回る月となった。松葉ガニは高値安定で推移した。紅ズワイガニ漁は昨年を上回る水揚げとなり、年末年始の消費動向の不明確さや安価な輸入ガニの流入等により比較的安価で推移した。

リサイクル原料⇒ 価格動向については、前月比、前年同月比ともに横ばいで推移した。売上高についても前月比、前年同月比ともに横ばいで推移。依然として古紙の発生は減少傾向で推移しており、業況は厳しい。

【小売業・商店街】

東部地区⇒ 鳥取の商店街では、11月はイベントが各地で開催され、天候にも恵まれたこともあり中心市街地は観光客も含め多くの人出で賑わいを見せた。街区の飲食、宿泊関係はカニ料理のシーズンとなり予約が増加したことで売上高は好転したものの、人手不足で需要に応えられず機会損失になるなど厳しい状況が続いている。光熱費、ガソリン価格の高騰等、ネガティブな要因が多く、消費マインドが停滞している。インボイス制度の開始により個人事業主は対応に苦慮している。

中部地区⇒ 倉吉の商店街では、カニのシーズンを迎え、大型バスの乗り入れは増加したものの、商店街への入り込みにつながらず厳しい状況。大きなイベントもなく業況は横ばいで推移した。

西部地区⇒ 米子の商店街では、11月は広場を使ったイベントなど特に実施しなかった。12月には米子南高校の生徒によるイベント実施を予定している。

境港市の水産物小売では、松葉ガニのシーズンが本格化し、多くの観光客で賑わいを見せている。買って帰るより食べて帰るという傾向にあり、飲食部門は売上が増加傾向にあるものの、販売部門は売上が伸びず足踏み状態となっている。

【旅館・観光】

⇒ 鳥取市の鳥取砂丘では、カニ漁の解禁もあり、一般観光客、大型バスともに鳥取砂丘への入込数は増加傾向で推移していたものの、下旬ごろの天候悪化もあり、観光客が大幅に減少した。売上高は前月比で横ばい、前年同月比で減少した。

米子市のホテル・旅館では、観光シーズンとなり繁忙期を迎え、宿泊客数が増加したことにより売上高は前月比で増加、販売価格も上昇したことから収益状況も好転した。前年同月比では宿泊客数、日帰り客ともに増加し、販売価格も増加したことから売上高は増加、収益状況も好転した。業界全体ではコロナウイルスの影響も一段落し、5類へ移行したことから入込数が増加傾向にあり、業況は好転してきている。人手不足が喫緊の課題となっている。

三朝温泉では、カニのシーズンとなり賑わいを見せたものの、昨年度の旅行支援のあった時期と比較すると入込数は減少している。多くの旅館でカニプランが開始されたこともあり、販売価格は上昇した。人手不足の影響によりすべての部屋を提供できないなど厳しい状況が続いている。

羽合温泉では、11月の宿泊客は前月比で大きく増加したものの、前年同月

比では15%程度減少した。人手不足の影響も宿泊客数の減少につながるなど、状況は厳しい。売上高については前月比で増加、前年同月比は減少で推移した。

【自動車整備業】

⇒ 新車の販売は普通車、軽自動車を含わせて2,189台で前月比が約7%減少、前年同月比は約7%の増加となった。中古車は653台で前月比約3%減少、前年同月比は約30%増加した。継続検査（軽自動車を含む）は15,298台となり前月比で1%減少、前年同月比は約7%増加した。自動車整備としては全体的に増加傾向となっている。

【建設業】

⇒ 10月の県内公共工事発注（西日本建設業保証(株)保証取扱）は、請負金額112億円（前年同月比11.0%増加）、件数182件（前年同月比22.1%増加）となった。年度累計（令和5年4月～令和5年10月）は、請負金額655億円（前年同月比21.1%増加）、件数1,172件（前年同月比1.4%減少）となった。住宅投資は3ヵ月平均でマイナスも、単月は前年比でプラスとなった。設備投資は単月、3ヵ月平均ともに前年比でプラスとなった。公共投資は単月、年度累計ともに前年同月比プラスが続き、基調として一部弱さが見られるも、持ち直しの動きは続いている。建設資材価格の高止まりやエネルギーコスト増に加え、技術者等の深刻な人手不足が継続しており、業況は厳しい。

10月の鳥取県新設住宅着工戸数は188戸（持家124戸、貸家64戸）で、前月比3%減少、前年同月比9%増加となった。

【運輸業】

東部地区⇒ 11月の物流は、低調であった荷動きに回復の基調が見られ、出荷物の増加が見られた。復路輸送荷物の情報量も増加傾向にあるも、荷物の不足傾向が依然継続している。売上高は前月比、前年同月比ともに増加となった。燃料価格は高止まりが続いており、収益の圧迫が懸念される。

西部地区⇒ 燃料価格については前月比で若干の価格上昇が見受けられた。3年前の同月と比較すると3割程度の価格上昇となっており、厳しい状況が続いている。運送関連受注については、農産物出荷において一部不作のため取扱輸送量が減少していたものの、全体的に単月では例年並みに推移した。

5. 中央会・行政庁への連絡要請事項

- ・国土強靱化事業に対し、県として国への予算要求に力点を置いてほしい。【生コンクリート製造業】
- ・過去に例を見ないほど新規工事が少なく、立ち行かない工場が出てくる恐れもあるため早急に対応を求める。【生コンクリート製造業】
- ・収益が上がっている大企業同様に、中小企業も価格転嫁が可能となるような施策を望む。【金属熱処理業】
- ・エネルギー価格をはじめ、コストの高騰に対する支援を望む。また、飲食に限らず業種に偏りのない需要喚起策を望む。【商店街】
- ・イベント時のトイレなど設備設置の対応。【商店街】

最近の指標の前月比D I の推移

		2022年												2023年	前年との増減幅
		11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	
売上高	製造業	-15.8	-10.5	-31.5	-10.5	0.0	-10.5	-15.8	0.0	0.0	-63.1	5.2	10.5	-10.5	5.3
	非製造業	26.3	-10.5	-36.9	31.6	57.9	-57.9	5.2	-15.8	-21.1	26.3	-26.3	21.0	31.6	5.3
	全業種	5.3	-10.5	-34.2	10.5	28.9	-34.2	-5.3	-7.9	-10.5	-18.4	-10.5	15.8	10.5	5.2
在庫数量	製造業	0.0	-10.5	5.2	0.0	0.0	5.3	10.5	10.5	-5.2	-10.6	-21.1	-15.8	-5.2	-5.2
	非製造業	8.4	8.3	8.4	8.3	16.7	0.0	0.0	0.0	8.3	-8.3	8.4	16.7	0.0	-8.4
	全業種	-3.2	-3.2	6.4	3.2	6.7	3.2	6.5	6.4	0.0	-9.6	-9.6	-16.1	-3.2	0.0
販売価格	製造業	26.3	26.3	21.0	21.1	0.0	5.3	0.0	-5.3	-10.6	-15.8	-15.8	-15.8	-5.3	-31.6
	非製造業	42.1	26.3	10.6	15.8	15.8	-10.6	10.6	5.3	21.1	31.6	-5.3	0.0	42.1	0.0
	全業種	34.2	26.3	15.8	18.4	7.9	-2.6	5.3	0.0	5.3	7.9	-10.5	-7.9	18.4	-15.8
取引条件	製造業	-10.5	-10.5	-5.3	-10.5	0.0	-5.3	0.0	0.0	-5.2	0.0	-5.2	0.0	-5.2	5.3
	非製造業	-5.3	0.0	-5.3	-5.3	0.0	0.0	0.0	0.0	-5.3	-5.3	0.0	-5.3	0.0	5.3
	全業種	-7.9	-5.3	-5.3	-7.9	0.0	-2.6	0.0	0.0	-5.3	-2.7	-2.7	-2.7	-2.7	5.2
収益状況	製造業	-36.8	-26.3	-31.6	-31.6	-5.2	-26.3	-15.8	-31.5	-21.1	-47.3	-31.5	-10.5	-15.8	21.0
	非製造業	15.8	-5.3	-31.5	0.0	21.1	-42.1	-10.5	-15.8	-47.4	21.0	-21.0	26.3	26.3	10.5
	全業種	-10.5	-15.8	-31.6	-15.8	7.9	-34.2	-13.2	-23.7	-34.2	-13.1	-26.3	7.9	5.2	15.7
資金繰り	製造業	-10.5	-5.3	-5.2	-21.1	-10.5	-15.8	-10.5	-15.8	-15.8	-21.1	-15.8	-10.5	-5.2	5.3
	非製造業	15.8	-15.8	-15.8	0.0	10.5	-26.3	0.0	-15.8	-26.3	-5.3	-26.3	0.0	10.5	-5.3
	全業種	2.6	-10.5	-10.6	-10.5	0.0	-21.1	-5.2	-15.8	-21.1	-13.1	-21.1	-5.3	2.6	0.0
設備操業度	製造業	10.5	-21.1	-5.3	-5.3	0.0	-21.1	-10.5	-10.5	-5.2	-36.8	-10.5	-5.3	-10.5	-21.0
雇用人員	製造業	0.0	0.0	-10.5	-5.3	-10.5	0.0	-5.3	0.0	0.0	-21.1	-10.5	-10.5	-10.5	-10.5
	非製造業	0.0	-5.3	-15.8	-5.3	0.0	5.3	10.5	-10.5	5.3	10.5	-10.5	0.0	5.3	5.3
	全業種	0.0	-2.6	-13.2	-5.3	-5.2	2.7	2.7	-5.3	2.6	-5.2	-10.5	-5.3	-2.7	-2.7
景 況	製造業	-31.5	-26.3	-36.8	-42.1	-26.3	-31.6	-36.8	-36.8	-21.0	-52.6	-31.6	-26.3	-15.8	15.7
	非製造業	15.8	0.0	-31.5	5.3	21.1	-15.8	15.8	10.6	-21.1	21.1	-5.3	10.5	15.8	0.0
	全業種	-7.9	-13.2	-34.2	-18.4	-2.6	-23.6	-10.6	-13.2	-21.1	-15.8	-18.4	-7.9	0.0	7.9

最近の指標の前年同月比D I の推移

		2022年												2023年	前年との増減幅
		11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	
売上高	製造業	-10.5	-36.8	-26.3	-15.8	-36.8	-31.6	-31.6	-36.8	-42.1	-52.7	-15.8	-36.8	-26.3	-15.8
	非製造業	0.0	5.3	36.9	31.6	31.6	52.6	26.3	42.1	5.3	5.3	36.9	26.3	5.2	5.2
	全業種	-5.3	-15.8	5.3	7.9	-2.7	10.5	-2.6	2.6	-18.4	-23.6	10.5	-5.3	-10.5	-5.2
在庫数量	製造業	10.5	5.3	10.5	0.0	-10.5	5.3	-5.3	-10.5	-21.0	-21.0	-21.1	-26.3	-26.3	-36.8
	非製造業	-16.7	8.3	16.7	16.7	16.7	8.4	8.4	8.4	8.4	-8.3	8.3	-8.3	8.3	25.0
	全業種	0.0	6.5	12.9	6.5	0.0	6.5	0.0	-3.2	-9.7	-16.2	-9.7	-19.4	-12.9	-12.9
販売価格	製造業	57.9	47.4	31.5	36.8	21.0	26.3	26.3	10.5	15.7	5.2	0.0	5.2	5.3	-52.6
	非製造業	10.5	42.1	52.6	21.1	26.3	36.8	36.9	47.3	52.6	57.9	47.3	42.1	52.6	42.1
	全業種	34.2	44.7	42.1	28.9	23.6	31.6	31.5	28.9	34.2	31.6	23.6	23.7	28.9	-5.3
取引条件	製造業	0.0	0.0	-5.2	-5.3	-5.2	-10.5	-5.2	-21.0	-15.8	-15.8	-15.8	-15.8	-21.1	-21.1
	非製造業	-10.5	-10.5	-5.3	-15.8	-21.1	-15.8	-15.8	-21.1	-10.5	-15.8	-10.5	-10.5	-10.5	0.0
	全業種	-5.3	-5.3	-5.3	-10.5	-13.8	-13.2	-10.5	-21.1	-13.2	-15.8	-13.2	-13.2	-15.8	-10.5
収益状況	製造業	-42.1	-42.1	-57.9	-63.2	-52.6	-52.6	-47.3	-47.3	-42.1	-57.9	-47.3	-52.6	-26.3	15.8
	非製造業	-5.3	-5.3	21.1	15.8	31.6	21.0	10.5	26.3	0.0	0.0	21.0	5.3	0.0	5.3
	全業種	-23.7	-23.7	-18.4	-23.7	-10.5	-15.7	-18.4	-10.5	-21.0	-29.0	-13.1	-23.6	-13.1	10.6
資金繰り	製造業	-10.5	-10.5	-15.8	-31.6	-31.6	-42.1	-42.1	-31.6	-36.8	-26.3	-31.5	-21.0	-15.8	-5.3
	非製造業	5.3	-5.3	5.3	5.3	5.3	0.0	-10.6	0.0	-10.5	-21.0	5.3	0.0	-10.5	-15.8
	全業種	-2.7	-7.9	-5.3	-13.2	-13.2	21.0	-26.3	-15.8	-23.7	-23.6	-13.2	-10.5	-13.1	-10.4
設備操業度	製造業	0.0	-15.8	-15.8	21.1	-15.8	-21.1	-21.0	-31.6	-31.6	-52.6	-31.5	-36.8	-31.6	-31.6
雇用人員	製造業	0.0	5.3	-10.5	-10.5	-15.8	-10.5	-15.8	-10.5	-15.8	-21.1	-10.5	-15.8	-10.5	-10.5
	非製造業	-5.2	-15.8	-10.6	10.5	-5.3	-5.3	-10.5	-10.5	-5.3	-5.3	-10.5	-5.2	-15.8	-10.6
	全業種	-2.6	-5.3	-10.5	0.0	-10.5	-7.9	-13.1	-10.5	-10.5	-13.1	-10.5	-10.5	-13.1	-10.5
景 況	製造業	-10.5	-21.1	-31.6	-42.1	-42.1	-31.6	-42.1	-42.1	-36.8	-36.8	-26.3	-26.3	-21.0	-10.5
	非製造業	21.1	5.3	-5.2	0.0	26.3	26.3	21.1	26.3	26.3	15.8	15.8	10.5	5.3	-15.8
	全業種	5.3	-7.9	-18.4	-21.1	-7.9	-2.6	-10.5	-7.8	-5.3	-10.5	-5.2	-7.9	-7.9	-13.2

鳥取県中小企業団体中央会
連絡員総数38名
回答数 38(100%)

回答数 38(100%)

	売上			在庫数量			販売価格			取引条件			収益状況			資金繰り			設備操業度			雇用人員			業界の景況		
	増加	不変	減少	増加	不変	減少	上昇	不変	低下	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	上昇	不変	低下	増加	不変	減少	好転	不変	悪化			
製造業	食料品	1	1	0	1	1	0	2	0	0	2	0	1	1	1	0	1	1	0	2	0	2	0	2	0		
	繊維工業	0	3	0	0	3	0	0	3	0	0	3	0	0	3	0	0	3	0	0	3	0	0	3	0		
	木材・木製品	1	2	1	0	3	1	0	3	1	0	3	1	0	2	2	1	2	1	0	3	1	0	2	2		
	紙・紙加工品	0	1	0	0	1	0	1	0	0	1	0	0	1	0	1	0	1	0	0	1	0	0	1	0		
	出版・印刷	0	1	1	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0		
	化学ゴム																										
	窯業・土石製品	0	0	1	0	1	0	1	0	0	1	0	0	1	0	1	0	1	0	0	1	0	0	1	0		
業	鉄鋼・金属	1	0	1	0	2	0	0	2	0	1	0	1	1	0	2	0	2	0	0	2	0	0	2	0		
	一般機器	0	3	0	0	3	0	0	2	1	1	2	0	1	2	0	0	3	0	0	2	1	0	3	0		
	電気機器	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1			
	輸送用機器																										
	その他																										
	19	3	11	5	1	16	2	2	14	3	1	16	2	1	14	4	1	16	2	0	17	2	0	16	3		
	100%	15.8%	57.9%	26.3%	5.3%	84.2%	10.5%	10.5%	73.7%	15.8%	5.3%	84.2%	10.5%	5.3%	73.7%	21.1%	5.3%	84.2%	10.5%	0.0%	89.5%	10.5%	0.0%	84.2%	15.8%		
非製造業	卸売業	1	3	2	0	5	1	2	4	0	0	6	0	0	5	1	0	6	0	0	6	0	1	5	0		
	小売業	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0		
	商店街	2	2	0	1	3	0	1	3	0	0	4	0	2	2	0	0	4	0	0	4	0	0	4	0		
	サービス業	4	1	0				3	2	0	0	5	0	4	1	0	2	3	0	1	4	0	2	3	0		
	建設業	0	1	0				1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0		
	運輸業	1	1	0				1	1	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0		
	その他																										
業	19	8	9	2	1	9	1	8	11	0	0	19	0	6	12	1	2	17	0		1	18	0	3	16	0	
	100%	42.1%	47.4%	10.5%	8.3%	75.0%	8.3%	42.1%	57.9%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	31.6%	63.2%	5.3%	10.5%	89.5%	0.0%		5.3%	94.7%	0.0%	15.8%	84.2%	0.0%	
	38	11	20	7	2	25	3	10	25	3	1	35	2	7	26	5	3	33	2	0	17	2	1	35	2	3	32
100%	28.9%	52.6%	18.4%	6.5%	80.6%	9.7%	26.3%	65.8%	7.9%	2.6%	92.1%	5.3%	18.4%	68.4%	13.2%	7.9%	86.8%	5.3%	0.0%	89.5%	10.5%	2.6%	92.1%	5.3%	7.9%	84.2%	7.9%

回答数 38(100%)

情報連絡員報告総括表(令和5年11月分)

鳥取県中小企業団体中央会
連絡員総数38名
回答数 38(100%)

1-2 業界の景気動向(前年同月比)

	売上			在庫数量			販売価格			取引条件			収益状況			資金繰り			設備稼働度			雇用人員			業界の景況		
	増加	不変	減少	増加	不変	減少	上昇	不変	低下	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	上昇	不変	低下	増加	不変	減少	好転	不変	悪化
食料品	0	0	2	0	0	2	1	1	0	0	2	0	0	1	1	0	0	2	0	1	1	0	1	1	0	2	0
繊維工業	1	2	0	0	3	0	0	0	3	0	0	0	1	2	0	0	3	0	0	3	0	1	2	0	1	2	0
木材・木製品	1	0	3	0	2	2	0	2	2	0	2	2	1	1	2	1	1	2	0	2	2	0	3	1	0	1	3
紙・紙加工品	0	1	0	0	1	0	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0
出版・印刷	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0
化学ゴム																											
窯業・土石製品	0	0	1	0	1	0	1	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0	0	1
鉄鋼・金属	0	1	1	0	2	0	0	1	1	0	1	1	0	0	2	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	1	1
一般機器	1	2	0	0	3	0	1	2	0	0	2	1	0	2	1	1	2	0	0	2	1	0	2	1	0	3	0
電気機器	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	1	0	1	0	0	1	0
輸送用機器																											
その他																											
19	3	8	8	0	14	5	4	12	3	0	15	4	2	10	7	2	12	5	0	13	6	1	15	3	1	13	5
100%	15.8%	42.1%	42.1%	0.0%	73.7%	26.3%	21.1%	63.2%	15.8%	0.0%	78.9%	21.1%	10.5%	52.6%	36.8%	10.5%	63.2%	26.3%	0.0%	68.4%	31.6%	5.3%	78.9%	15.8%	5.3%	68.4%	26.3%
卸売業	0	3	3	0	6	0	3	3	0	0	5	1	0	5	1	0	6	0				0	5	1	1	4	1
小売業	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0				0	1	0	0	1	0
商店街	2	2	0	1	3	0	2	2	0	0	4	0	1	3	0	0	4	0				0	3	1	0	4	0
サービス業	2	0	3				3	2	0	0	4	1	2	2	1	0	4	1				1	3	1	3	1	1
建設業	1	0	0				1	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	1				0	1	0	0	0	1
運輸業	2	0	0				1	1	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0				0	1	1	0	2	0
その他																											
19	7	6	6	1	10	0	10	9	0	0	17	2	3	13	3	0	17	2				1	14	4	4	12	3
100%	36.8%	31.6%	31.6%	8.3%	83.3%	0.0%	52.6%	47.4%	0.0%	0.0%	89.5%	10.5%	15.8%	68.4%	15.8%	0.0%	89.5%	10.5%				5.3%	73.7%	21.1%	21.1%	63.2%	15.8%
38	10	14	14	1	24	5	14	21	3	0	32	6	5	23	10	2	29	7	0	13	6	2	29	7	5	25	8
100%	26.3%	36.8%	36.8%	3.2%	77.4%	16.1%	36.8%	55.3%	7.9%	0.0%	84.2%	15.8%	13.2%	60.5%	26.3%	5.3%	76.3%	18.4%	0.0%	68.4%	31.6%	5.3%	76.3%	18.4%	13.2%	65.8%	21.1%